

科目ナンバー： BA2031

授業コード： 2210200300

講義科目名称： 環境生態学

英文科目名称： Ecology of Environment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎山縣耕太郎			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎山縣 耕太郎 【所属】 上越教育大学 【研究室】 【本学の科目区分】 教養科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○
------	---

到達目標	1. 地域の環境は、そこで暮らす人たちの生活や健康に大きな影響をおよぼすことを理解する。そのために自然界と人間社会に存在する様々な要素が、相互に作用しあって構成する複雑なシステムであることを理解する。 2. 環境の現状や環境問題について高い関心を持ち、身近な問題から地球規模の課題までを自分自身の問題としてとらえる態度を身に着ける。 3. 環境の現状や環境問題の本質を、科学的かつ客観的な態度でとらえ、多角的な視点から理解しようとする姿勢を持ち、そのための技能を身に着ける。そのうえで人と環境の関係に対する的確な視点を身に付けることを目指す。
------	---

授業概要	環境は一定不変のものではなく、地域や時代によって大きく変化する。人間の健康や生活、文化は、このような環境の変化から大きな影響を受けてきた。環境の変革期である現在、環境に対する正しい認識が必要とされている。本講では、時間や空間スケールを変えて、様々な視点から環境にアプローチし、環境の中での人間のあり方について考える。
------	--

授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：環境とは何か 学習内容：環境の定義、考え方の変遷 事前学修：環境とはなにか、環境の定義について考える。 事後学修：講義で取り上げた環境と人間生活との関係について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。 備考： 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：環境の姿 学習内容：環境の見方、とらえ方 事前学修：環境の見方、とらえ方について考える。 事後学修：講義で取り上げた環境の見方、とらえ方について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。 備考： 3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：上越地域の環境 学習内容：上越地域の人と自然の関わり 事前学修：上越地域の人と自然の関わりについて考える。 事後学修：講義で取り上げた上越地域の人と自然の関わりについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。 備考： 4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：雪と生活 学習内容：上越の雪と人間生活の関係 事前学修：上越の雪と人間生活の関係について考える。 事後学修：講義で取り上げた上越の雪と人間生活の関係について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
------	---

5	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自然と人との関わりの歴史 学習内容：気候変化のメカニズム 事前学修：気候変化のメカニズムについて考える。 事後学修：講義で取り上げた気候変化のメカニズムについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
6	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自然と人との関わりの歴史 学習内容：気候変化と歴史への影響 事前学修：気候変化と歴史への影響について考える。 事後学修：講義で取り上げた気候変化と歴史への影響について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
7	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自然の猛威と人 学習内容：地震災害 事前学修：自然の猛威と人との関わりについて考える。 事後学修：講義で取り上げた自然の猛威と人との関わりについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
8	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自然の猛威と人 学習内容：火山災害、気象災害 事前学修：自然の猛威と人との関わりについて考える。 事後学修：講義で取り上げた自然の猛威と人との関わりについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
9	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：資源と人間 学習内容：エネルギー需要・供給の歴史 事前学修：エネルギー需要・供給の歴史について考える。 事後学修：講義で取り上げたエネルギー需要・供給の歴史について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
10	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：資源と人間 学習内容：将来のエネルギー 事前学修：将来のエネルギーについて考える。 事後学修：講義で取り上げた将来のエネルギーについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
11	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：環境問題の歴史 学習内容：環境問題の歴史 事前学修：環境問題の歴史について考える。 事後学修：講義で取り上げた環境問題の歴史について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
12	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：地域的な環境問題 学習内容：公害の歴史と背景 事前学修：地域的な環境問題について考える。 事後学修：講義で取り上げた地域的な環境問題について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
13	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：グローバルな環境問題 学習内容：地球温暖化 事前学修：地球温暖化について考える。 事後学修：講義で取り上げた地球温暖化について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。
14	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：グローバルな環境問題 学習内容：水問題・砂漠化 事前学修：水問題・砂漠化について考える。 事後学修：講義で取り上げた水問題・砂漠化について整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。

	15	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：まとめ 学習内容： 事前学修：環境の現状や環境問題についてについて考える。 事後学修：講義で取り上げた環境の現状や環境問題についてについて整理し、関連する身近な事例を調べ、これからの学習に活用できる資料を作成する。 備考：
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対して、レポート 100%：講義内容に関連する知識の理解を確認する。数回実施予定。実施日その他については講義時に説明する。	
必携図書	授業時にプリントを配布する。参考文献については、その都度紹介する。	
参考図書・資料等	—	
受講、課題、資料配布等のルール	—	
教員からのメッセージ	上越は、豊かな自然に囲まれているとともに、多雪など、自然の厳しさも感じられるところです。そのような環境を身近に感じることができる場所で、環境と自らの関係を考えてみましょう。	
オフィスアワー	—	